

# 結城での友情を宝に帰国

## タイの高校生 4 人

4月5日に来日したタイ・メーサイ高校のスパツアラ・スアンニミット（愛称ヌン）さんとトドサワット・ムエンガム（愛称レオ）君、パヤオピタヤコム高校のチャニタ・モンコル（愛称ビーム）さんとポンピモン・デジャイ（愛称ダーリン）さんは、約1カ月の日本での高校生活を体験し、いっばいの思い出をお土産に4月25日に帰国します。

ヌンさんとレオ君は、結城一高と結城二高で学校生活を体験しました。2年生のクラスに入って、クラスメートとともに勉強し、結城一高では剣道や柔道など日本の武道を体験したほか、バドミントン部やバスケットボール部など得意の球技で部活にも参加しました。結城二高でも美術や英会話、心理学などの授業を受けたほか、着付けを体験。また、ユネスコの世界文化遺産に登録されている結城紬の織りなどにもチャレンジしました。結城紬の授業では、文化遺産の織りの工程に登録されている地機じばたを使って機織はたおりにチャレンジ。指導先生やクラスメートにアドバイスをもらって楽しく紬を織り、糸つむぎも体験しました。

ビームさんとダーリンさんは、鬼怒商業で高校生活を体験しました。2年生のクラスに入り、授業を体験。家庭科の授業ではカレーとマカロニサラダ作りに挑戦しました。23日には全校集会でお別れ会を開催。タイの民族舞踊を披露したり、日本のヒットソングを歌い、友人とともに記念写真を撮って、友情を深めました。

2019年4月24日



結城一高



結城一高



結城二高



鬼怒商業



結城二高



鬼怒商業の全校生徒と